

研究会の名称

地域メンタルヘルスアセスメント研究会

研究目的

プライマリケア領域や一般地域住民、医療過疎地域におけるメンタルヘルスケアとしてうつや不安のアセスメントをテーマに研究を行う。

研究方法・研究目的

地域やプライマリケアにおける「うつ・不安」などのコモンメンタルディジーズへの対応や連携は依然として不十分である。Goldberg & Huxley の PTC モデルでは、精神科治療に至るまでに 4 つのフィルターがあるとされる。レベル 1 は地域住民、レベル 2 はプライマリケア受診者、レベル 3 は医師によりうつ・不安障害と診断された者、レベル 4 は精神医療サービスの受療者、レベル 5 は精神科入院患者である。各レベル間には「疾病行動」や診断精度、紹介体制、入院の要否といったフィルターが存在する。本研究会は、レベル 1 と 2 および第 1・第 2 フィルターに注目し、うつ評価に PHQ-9 日本語版と不安評価に GAD-7 日本語版のアセスメントツールの臨床上の有用性を検討する。PHQ-9 日本語版、GAD-7 日本語版の診断精度の検証とシステマティックレビューを行い、新潟県内の総合病院、開業医などにおける多職種間で連携や活用法について意見交換を実施し検討する。

研究期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 現在

認定研究会代表者（氏名・所属・職位）

村松公美子 新潟青陵大学・短期大学部保健管理センター特任教授/
医療法人社団 敬成会 白根緑ヶ丘病院

運営メンバー（氏名・所属・職位）

村松芳幸 医療法人 恵松会 河渡病院
真島一郎 医療法人 恵松会 河渡病院

研究報告会の実施状況

第 1 回 令和 8 年 3 月 於 新潟青陵大学 開催予定